

■協働に向けて

参画・協働の基盤は、行政と市民、市民と市民の良好な関係です。市民会議では協働の定義を『様々な主体が相手の特性を理解し尊重して、対等な立場で、共通の目的に向かって責任と役割分担を明確にし、共に取り組むこと』としています。

定義ただけで協働が進むわけではありません。今年度後半の協働推進プランづくりへの意見がとても重要になります。市民会議でのプランへ反映していきたい意見を抜粋してみると・・・

- 市役所各課で協働を推進する
- 担当課同士の調整の仕組みをつくる
- 協働推進プランに、協働推進体制、中間支援機能を盛り込む(人材育成の具体的施策なども)
- 市民や各市民団体も人材育成の役割を担う
- 協働の必要性についてもっと学ぶ

■協働の領域

市民の責任と主体性により独自に行う	市民の主体性のもとに行政の協力によって行う	市民と行政がそれぞれ独自の主体性のもとに協力して行う	市民の協力や参加を得ながら行政の主体性のもとに行う	行政の責任と主体性によって独自に行う
-------------------	-----------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------

市民が自由に活動を展開！

よりよい、地域社会を目指して市民と行政が協働する領域

行政が独自に遂行

■協働の現状

- 行政からの協働の提案はあるが、市民の提案から始まる協働はまだ少ない。
- 参画・協働の場を通じて、市民の意見を取り入れ、施策・事業に反映し、それをわかりやすく伝えていくノウハウが確立されていない。

まだまだ先が見えない協働です！
前途多難な道ですが、信頼関係こそが、どんなことにも対応できる骨太の山口につながるのだと思います。次世代のために誰もが生き生きできるしくみをこれからも検討していきましょう！



市 協働のまちづくり 市民会議



第12回

★日 時★

平成20年4月19日(土)
13:00~17:00

★場 所★

山口総合支所 第10・11会議室

★テーマ★

『条例素案づくり』8

条例全体を協議

★本日のプログラム★

- 13:00 スタート・前回の振り返り
プログラム説明
- 13:20 中間案の確認
- 16:00 ブロック別地域フォーラムについて

日程や委員の役割、進め方などを検討しましょう！

- 16:45 まとめ
- 17:00 終了 アンケート記入
- 終了後、フォーラム準備班の打ち合わせ

※会議の進行状況を見て、プログラムを変更することがあります。

いよいよ中間案の出来上がりです。

これからは、市民への条例の広報と意見交換の場を交代でこなしていくことになります。

前回のアンケートを見ても市民会議のみなさんの意気込みとともに不安も見えます。住民自治や協働を進めて行く上では、市民主体の広報や意見交換の場は避けられません。撃沈も覚悟して、勇気をもって臨んで行きましょう！

フォーラムに向けての不安

- *どんな人が来ているんだろう？
- *私たちのことを何者だと紹介したらいいのかな？
- *私たちの説明でわかってもらえるのかな？
- *この条例が受け入れてもらえるのかな？

- *私たちより法的知識が豊富な人もいるよね？
- *回答できない質問は？
- *条例を否定されたらどうしよう!!



伝えたいこと

- * (仮)まちづくり基本条例の意義
- * (仮)まちづくり基本条例の強調したいこと
- * (仮)まちづくり基本条例があるとどう山口が変わって行くのか



これまで行政が担ってきた公共の役割が市民に期待され、自治会や市民の責任は大きくなるのですから、「そんなこと、やっつけられない」という市民も当然いると思います。

しかし、どんな否定的な意見も「よくぞ言ってくれました」と受け止め、「でも、次世代にいい山口を残すのが私たちの役割だ」と言い切れる勇気も必要かもしれません。

これから協働のまちづくりが進んでいくと、地域ごとにまちづくりの計画を立てて実行していくことになります。そのためには様々なまちづくりの主体と対話していくためのコミュニケーション能力が必要になります。市民会議の中でも住民の相互理解を深めていくための集会の場づくりや交流の機会づくりの必要性があげられています。私たち市民会議も多様な価値観を受け止められる懐の広さを持ち、このフォーラムをその皮切りに、いろいろな形で市民参加が広がっていくことを夢見て、支えあって臨みましょう！